

株主様ご優待制度

毎年3月31日現在当社株式を1,000株以上ご所有の株主様に対し、下記の基準により、静岡県袋井市において例年8月に開催される「ふくろい遠州の花火」指定席入場券または郷土の産品「クラウンマスクメロン」を贈呈いたしております。(花火大会があらかじめ中止となった場合は、自動的にクラウンマスクメロンのご贈呈となります。)

ご所有株式数	選択区分	ご優待品
1,000株 ～1,999株	-	郷土の産品「クラウンマスクメロン」 2個
2,000株 ～4,999株	①	「ふくろい遠州の花火」指定席入場券 2枚
	②	郷土の産品「クラウンマスクメロン」 3個
5,000株以上	①	「ふくろい遠州の花火」指定席入場券 4枚
	②	郷土の産品「クラウンマスクメロン」 4個

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めた日

単元株式数 100株
株主名簿管理人及び特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
同連絡先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-176-417 (フリーダイヤル)
<※平成25年1月より連絡先が以下のとおり変更となります。>
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)

(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
公告方法 当社の下記ホームページに掲載します。
<http://www.enshu-truck.co.jp/>
ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 大阪証券取引所 (JASDAQ市場 証券コード 9057)

第48期

業績の中間ご報告

(平成24年4月1日から
平成24年9月30日まで)

 遠州トラック株式会社



株主の皆様へ



株主の皆様には、平素格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第48期第2四半期（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当第2四半期におけるわが国経済は、復興需要や個人消費の下支えにより緩やかな回復傾向を示してきたものの、後半は海外経済の減速、円高の長期化、政策効果の剥落などにより、停滞感が強まる状況となってまいりました。

このような状況下、当社グループにおきましては、エアコンや飲料等の季節商品の取り扱いが堅調に推移したほか、前期より稼働した新規のセンター業務を中心に貨物取扱量が回復いたしました。

この結果、当第2四半期の連結営業収益（売上高）は117億62百万円（前年同期比4.2%増）と、中間期といたしましては過去最高となりました。

一方、利益面におきましては、増収に伴う粗利益の増加に加え、作業効率の向上に伴う労務費の削減、前期に計上した震災対応のための倉庫賃借料の減少等により、連結営業利益は4億44百万円（前年同期比17.0%増）、連結経常利益は4億14百万円（前年同期比24.5%増）、連結四半期純利益は特別損益の改善もあり、2億48百万円（前年同期比

39.6%増）となりました。

部門別の営業収益の状況は次のとおりであります。

物流事業の営業収益は116億71百万円（前年同期比4.1%増）、その内訳は、輸送部門が75億3百万円（前年同期比2.6%増）、倉庫部門は41億68百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

不動産事業は90百万円（前年同期比17.8%増）となりました。

設備投資につきましては、基幹システムの再構築に向けたシステム投資や倉庫機能拡張のための改装工事など、総額4億52百万円を実施しました。

下半期のわが国経済は、景気の減速が顕著になった中国をはじめとして、世界経済が減速感を強めており、加えて、日中貿易の停滞、消費の足踏みなど、景気の下振れリスクを抱え、さらに厳しさを増すことが予想されます。

上記のような景況感の悪化に伴い、当物流業界におきましても、今後荷動きは鈍くなるものと予想しており、総じて厳しい事業環境を余儀なくされる可能性が高まっております。

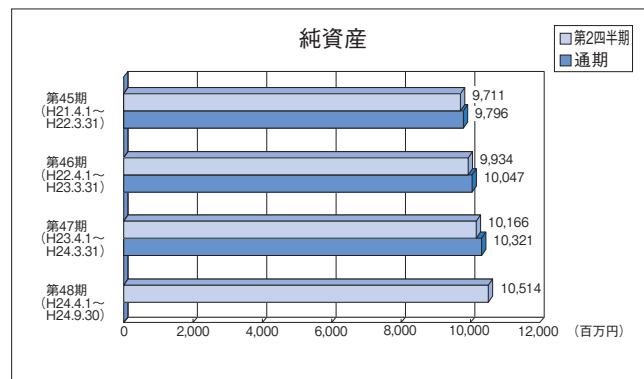
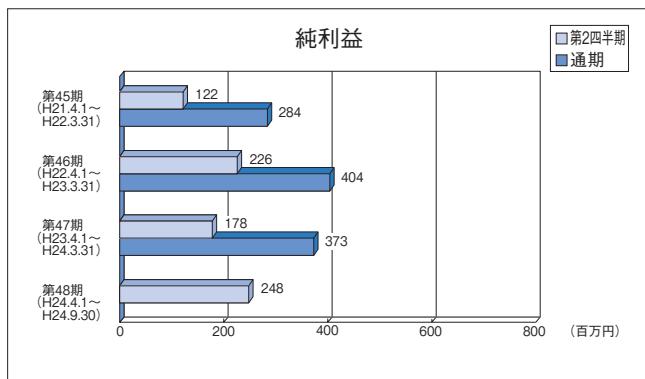
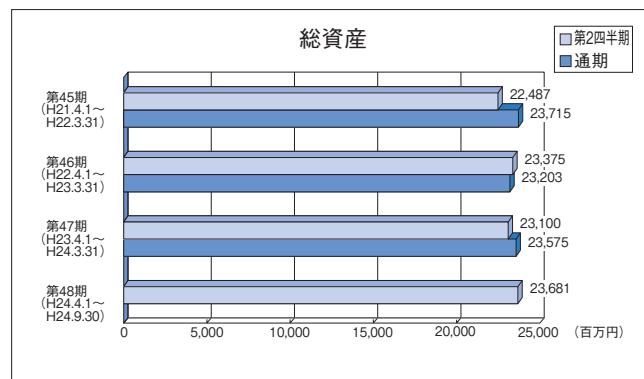
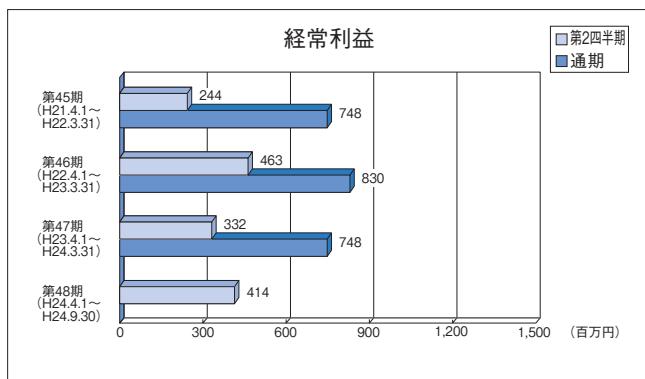
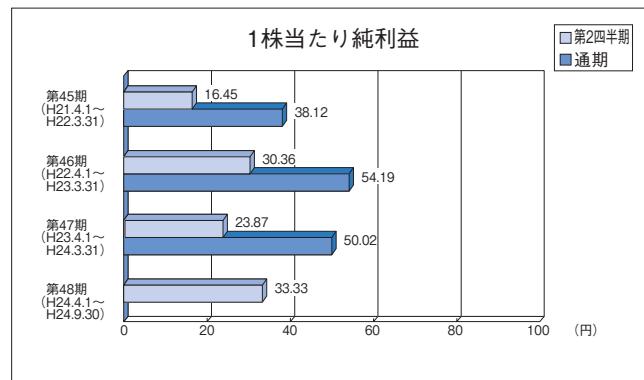
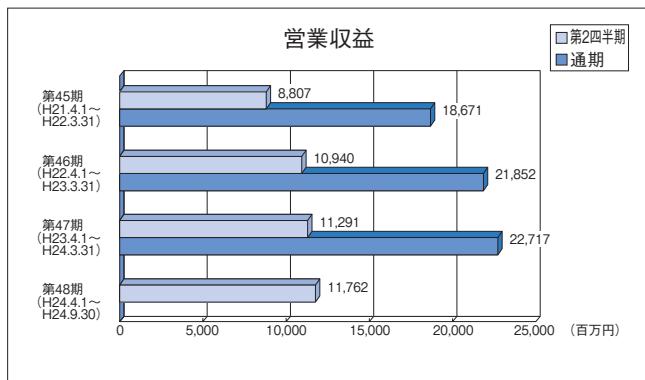
このような中、当社グループにおきましては、過日公表しました中期5ヵ年経営計画（2012～2016年度）に基づき、3PL事業（物流のアウトソーシング）を中心とする「戦略的物流」を積極的に推進するとともに、資本効率の向上を目指した経営にさらに取り組みでまいる所存です。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月

代表取締役社長 澤田 邦彦

連結業績ハイライト



連結財務諸表（要約）

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期末 (平成24年9月30日現在)	前 期 末 (平成24年3月31日現在)
(資産の部)		
① 流動資産	5,030	5,150
固定資産	18,651	18,424
有形固定資産	15,849	15,806
② 無形固定資産	510	390
投資その他の資産	2,291	2,227
資産合計	23,681	23,575
(負債の部)		
③ 流動負債	7,226	7,001
④ 固定負債	5,941	6,252
負債合計	13,167	13,254
(純資産の部)		
株主資本	10,396	10,207
資本金	1,284	1,284
資本剰余金	1,086	1,086
利益剰余金	8,085	7,896
自己株式	△ 59	△ 59
その他の包括利益累計額	31	30
少数株主持分	85	82
純資産合計	10,514	10,321
負債及び純資産合計	23,681	23,575

Point

- ① 借入金の返済を進めたことなどに伴い現預金が減少し、「流動資産」は前期末に比べ1億20百万円減少しました。
- ② 新基幹システム構築のためのシステム設計費用や配車支援システム開発費用の計上により、ソフトウェア、ソフトウェア仮勘定等の「無形固定資産」は前期末に比べ1億20百万円増加しました。
- ③ 運転資金のための短期借入金の増加や、固定負債から1年内返済（償還）予定長期借入金・社債への振替計上のため、「流動負債」は前期末に比べ2億24百万円増加しました。
- ④ 上記③などの結果、「固定負債」は前期末に比べ3億11百万円減少しました。

連結損益計算書

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期(累計) (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	前第2四半期(累計) (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
① 営業収益	11,762	11,291
② 営業原価	10,971	10,585
営業総利益	790	706
販売費及び一般管理費	346	325
③ 営業利益	444	380
営業外収益	34	23
営業外費用	65	70
③ 経常利益	414	332
特別利益	0	1
特別損失	6	49
税金等調整前四半期純利益	408	284
法人税等	158	107
少数株主損益調整前四半期純利益	250	177
少数株主利益又は損失(△)	1	△ 1
③ 四半期純利益	248	178

Point

- ① エアコンや飲料等の季節商品に加え、流通系貨物の取り扱いが増加し、「営業収益」は前年同期に比べ4億71百万円増加しました。
- ② 運送収入や倉庫収入の増収に伴い、備車料、外注費を中心に「営業原価」は前年同期に比べ3億86百万円増加しました。
- ③ 備車料等の増加がありました。増収に伴う粗利益の増加、作業効率の向上に伴う労務費の削減、燃料費や道路使用料の減少等により、前年同期に比べ、「営業利益」は64百万円、「経常利益」は81百万円、「四半期純利益」は70百万円のそれぞれ増益となりました。

会社の概要 (平成24年9月30日現在)

設立 昭和40年8月
 資本金 1,284,300,000円
 本社 静岡県袋井市木原627番地の3
 従業員の状況 630名 (連結1,013名)
 主要な事業所

本社事業部 静岡県袋井市木原22番地1
 西日本事業部 浜松市西区湖東町5720番地
 関東事業部 横浜市鶴見区大黒町一丁目11番地
 東京営業所 東京都港区浜松町一丁目2番11号

役員 (平成24年12月1日現在)

代表取締役会長	神谷修義
代表取締役社長	澤田邦彦
取締役	井上正明
取締役	豊田慶造
取締役	山本雅俊
常勤監査役	木下昭二
監査役	馬杉秀
監査役	秋山和幸
監査役	大庭弘継

(注) 1. 取締役 山本雅俊氏は社外取締役です。
 2. 監査役 馬杉 秀、秋山和幸、大庭弘継の3氏は社外監査役です。

連結子会社

株式会社藤友物流サービス	(本社 浜松市東区)
遠州トラック関西株式会社	(本社 大阪府摂津市)
株式会社中国遠州コーポレーション	(本社 静岡県袋井市)
上海遠州物流有限公司	(本社 中国・上海市)

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

科 目	当第2四半期(累計) 自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	前第2四半期(累計) 自平成23年4月1日 至平成23年9月30日
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	516	521
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 458	△ 190
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 159	△ 346
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額	△ 101	△ 15
現金及び現金同等物の期首残高	1,058	886
④ 現金及び現金同等物の四半期末残高	956	871

Point

- 税金等調整前四半期純利益や減価償却による資金留保等により、「営業活動の結果得られた資金」は5億16百万円となりました。これは、法人税等の支払いが増加したなどのため、前年同期に比べ4百万円の収入の減少でありました。
- 倉庫機能拡張のための土地の購入や構築物・機械装置の設置などの有形固定資産の取得やシステム投資に伴う無形固定資産の取得等により、「投資活動の結果支出した資金」は4億58百万円となりました。これは前年同期に比べ2億67百万円の支出の増加となりました。
- 設備資金調達のための長期借入れや短期借入金の純増による収入等に対し、借入金の返済や期末配当金の支払いに伴い、「財務活動の結果支出した資金」は1億59百万円となりました。これは前年同期に比べ1億86百万円の支出の減少でありました。
- 上記①～③の結果、当第2四半期末の「現金及び現金同等物の残高」は前期末に比べ1億1百万円減少し、9億56百万円となりました。

■株式の状況

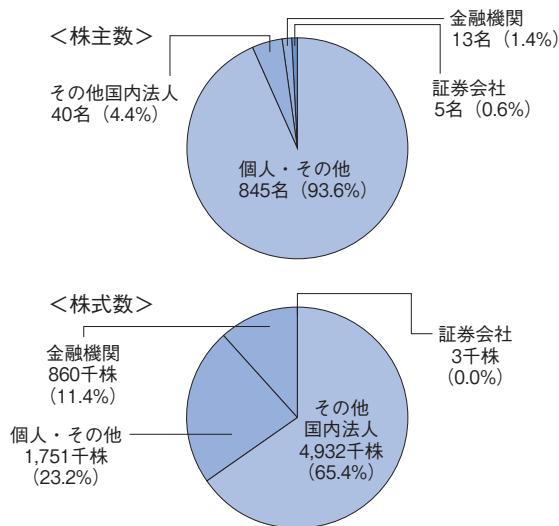
発行可能株式総数	17,600,000株
発行済株式の総数	7,546,000株
株主数	903名

■大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社住友倉庫	4,527	60.7
遠州トラック従業員持株会	228	3.1
澤田邦彦	205	2.8
株式会社商工組合中央金庫	169	2.3
有限会社スリーナイン	131	1.8
株式会社静岡銀行	124	1.7
株式会社三井住友銀行	121	1.6
三井住友海上火災保険株式会社	103	1.4
日本生命保険相互会社	100	1.3
東京海上日動火災保険株式会社	100	1.3

(注) 持株比率は自己株式(84,922株)を控除して計算しております。

■所有者別の分布状況



■大手外食チェーン店向けお米の配送業務を開始

今夏、当社は、外食産業大手グループから、同グループが静岡県内に展開するファストフード店向けのお米の配送業務を受託し、業務を開始しました。

これまで同グループのチェーン店向けのお米の配送は、グループ本部から委託を受けた米穀店や問屋がそれぞれ個別に行っていましたが、このたび、物流業務の効率化やコスト削減を進めていた同グループの物流子会社から、静岡県におけるお米の配送業務を一括して請負うことになったものです。業務としては、週数回、関東地区のJA(全農)から幹線便にて大口ロットのお米を当社倉庫(袋井市)に引取輸送し、各店舗別に仕分け作業を行った後、静岡県内に展開する70店舗に小口配送するというものです。

当社は、従来から進めてきた食品関係の共同配送のネットワークに今回の業務を一部組み込み、荷主が要望する配送コストの削減に寄与していきたいと考えています。当社では、今回の取引を機に、お米以外の食材の取り扱いはもとより、同グループ内の他の外食店との取引も委託いただけるよう、日々の業務を着実に遂行していく所存です。



■ギフト商品のセット業務を開始



近年当社では、商業物流分野への進出を積極的に進めていますが、このたび、各種ブランド品をはじめ、生活雑貨や家庭用品、ギフト商品等の卸売りを手掛ける大手流通グループとの取引を開始しました。

当社は、浜松市北部の都田地区にある鉄骨造2階建ての倉庫(延床面積3,000坪)を今回の専用センターとして使用し、同グループが扱う中元、歳暮用のオリジナルギフト商品の加工(商材のセットアップから包装、梱包)および完成品の保管業務を行うとともに、セット作業を伴わないメーカー各社のナショナルブランドギフトと合わせて、東海・北陸地方を中心とするスーパー、量販店、ギフトショップ向けの輸送を担います。

同業務は、毎年、中元シーズン向けの5月~7月と歳暮シーズン向けの9月~12月に集中するため季節性の高い業務となりますが、当社としては同グループとの取引拡大を通じ、商業物流のさらなる展開に向けたノウハウの蓄積に努めていく方針です。